

備前市施策評価シート

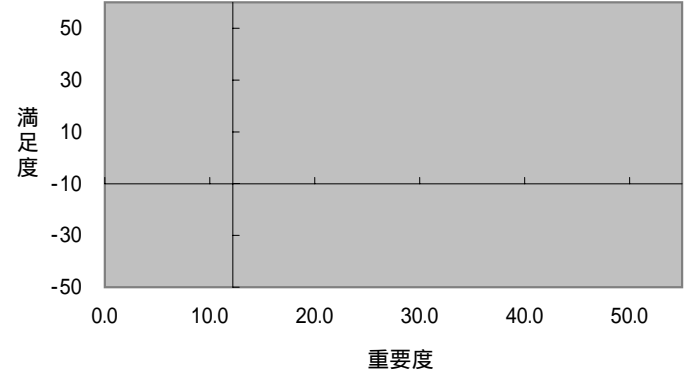
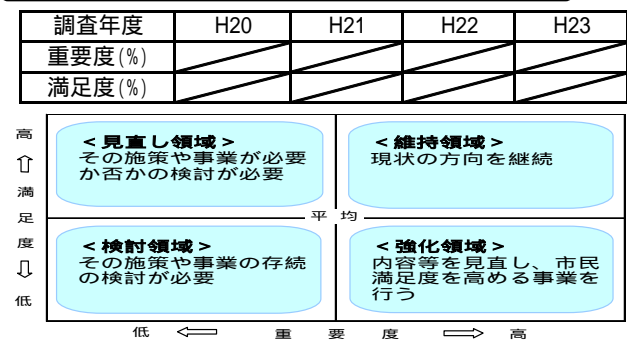
(平成22年度事業)

施策名 (小項目)	結核・じん肺	コード	02-02-05	作成者	保健課長
		役職		氏名	有吉隆之
		氏名		電話	64-1819
		このシート作成に要した時間	0.5 時間		

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	基本目標(大項目)	健康でやさしさあふれるまちづくり
	基本施策(中項目)	健やかで生き生きしたまちづくり
対象と目的 (誰のために、何のために)	市民が結核に感染することを防ぎ、じん肺患者に対してはその療養を見舞う。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	結核登録者は減少傾向にあるが、新規発生者の多くは高齢者である。抵抗力の弱い乳幼児、高齢者への対策が重要となっている。 じん肺認定患者は、肺がんが合併症として認められたこともあり、新規認定者は微増しているが、資格消滅者が上回っていることから、見舞金支給者は、徐々に減少している。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 検診などの実施 健康教育の推進 	

市民意識調査による施策の重要度・満足度



調査結果に対するコメント、市民の反応等	結核はまだ油断のできない感染症であるため、検診受診率の向上に努める。じん肺認定患者については、肺機能低下に留意し、健康相談に応じていく必要がある。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H20	H21	H22		H23	H28
成果指標 結核検診受診率	目標	%	60.0	50.0	50.0	H23	50.0
	実績	%	34.6	34.5	31.3	H28	50.0
	達成率	%	57.7	69.0	62.6	-	-
	ベンチマーク					-	-
参考指標 健康増進教室参加率	目標	%	30.0	30.0	30.0	H23	35.0
	実績	%	23.5	19.1	18.1	H28	40.0
	達成率	%	78.3	63.7	60.3	-	-
	ベンチマーク					-	-
参考指標	目標					H23	
	実績					H28	
	達成率	%				-	-
	ベンチマーク					-	-
参考指標	目標					H23	
	実績					H28	
	達成率	%				-	-
	ベンチマーク					-	-

施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)												施策への 貢献度	
				平成20年度				平成21年度				平成22年度					平成23年度
				直接 事業費	人件費	人工数	当 初 予 算 (直接事業費)	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	当 初 予 算 (直接事業費)	-		
1	結核予防事業	C	結核予防事業	法定	3,887	299	0.05	4,961	507	0.08	4,487	191	0.03	4,998			
2	じん肺患者見舞金事業	C	じん肺患者見舞金事業	単市	10,153	658	0.07	9,906	492	0.05	9,746	963	0.10	10,142			
3	感染症予防事業	B	感染症予防事業	補助	10	1,244	0.17	1,072	4,519	0.50	27	950	0.11	92			
			狂犬病予防事業	法定	248	1,475	0.26	303	2,066	0.24	354	2,236	0.27	348			
					平成20年度				平成21年度				平成22年度				平成23年度
					14,298	3,676	0.55	16,242	7,584	0.87	14,614	4,340	0.51	15,580			

以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果

施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)	
<成果指標の妥当性> 1 施策の目的・成果を表現しているか?	3	結核予防のためには、まず検診の受診が基本となるので、受診率を指標としている。	
<事業構成の妥当性> 2 手段は最適か?	3	結核予防、感染症予防等必要な事業構成としている。じん肺患者見舞金事業は、市として支援のあり方を検討する時期にきている。	
<施策の有効性> 3 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	結核予防、感染症予防のために必要な事業である。	
進行年度(H23年度)の取組内容(課題解決状況)		結核検診受診率向上のため、検診の利便性向上に努めるとともに検診等の必要性についての普及啓発や検診の受診勧奨を行う。じん肺患者見舞金については、市として支援のあり方を検討する。	
翌年度(H24年度)の取組目標		結核検診受診率向上のため、検診の利便性向上に努めるとともに検診等の必要性についての普及啓発や検診の受診勧奨を行う。じん肺患者見舞金については、市として支援のあり方を検討する。	
二次評価者コメント		役職 保健福祉部長 氏名 金光 亨 結核予防対策は、啓発、受診勧奨により、検診受診率の向上に努めること。じん肺見舞金は、じん肺患者の高齢化等もあり、引き続き支援の在り方を検討すること。	
		基本施策への 貢献度	3 中立